

「か」「る」「た」でしもつけ再発見

『下野市ふるさとかるた』
 今月は「わ」です



下野市国分寺は天平13年(741年)聖武天皇の詔(みことり)で全国60数箇所に建てられた国立寺院の一つです。伽藍(がらん)寺の建物)配置は全国の総国分寺である奈良の東大寺と同じ形式(東大寺式)で、塔は回廊の外側東方に置かれ、基壇の規模から七重塔もあったと推定されています。また、寺院地の規模が東西413m、南北458mになることが明らかになっています。

わ
 わが国の
 安たい願った
 国分寺

下野市の名称の由来は、下野国分寺・国分尼寺の建立と日本三戒壇の一つである下野薬師寺とされ、古代東国地方の仏教・文化の中心地として栄えた歴史にあります。

現在、下野国分寺跡は平成25年度の全面完成を目指して塔跡・講堂・金堂・鐘楼等の遺構表示整備を進めています。



周辺には、このような歴史的遺産を生かした天平の丘公園・尼寺公園が整備されるとともに、同所において毎年3月下旬から5月上旬にかけて淡墨桜や山桜、八重桜、つつじ等が咲き誇るなか開催される「天平の花まつり」(詳細P2~3)に多くの観光客が訪れています。

DVホットライン「コラム」

DV加害者ってどんな人?

配偶者へ暴力をふるっている人という、「怖そう」「荒々しそう」などのイメージはありませんか?

DV加害者はいたって普通の人です。また、社会的地位が高かったり、学歴が高かったり、会社では人当たりのいい人だったり、近所付き合いも良かったり…。

そんな人がDV加害者だなんて、ますます信じられませんが、でも、そんな思い込みが発見を遅らせることがあります。

DVかな?と感じたら、まず相談してください。

下野市DVホットライン
 ☎(52)11688

相談日時 月~金曜日
 (土日祝日・年末年始を除く)

午前9時~午後5時
 (正午~午後1時を除く)

問い合わせ先
 児童福祉課 ☎(52)1114

男女共同参画社会

「私たちをとりまく環境」

平成24年1月の全国将来人口推計によると、50年後の日本の人口は、現在の3分の2となり、少子高齢化は一段と進み、高齢人口(65歳以上)の割合は現在の23.0%から39.9%になると見込まれ、社会や経済の活力低下が懸念されます。

労働は賃金を得るための手段ばかりでなく生きがいでもありますが、近年では安定した仕事に就けず経済的に自立することができない人、仕事による心身の疲労から健康を害しかねない人など、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。こうした中、政府は平成19年に「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」を策定し、男女共同参画を推進するための官民を挙げた取組が進められています。

次号以降で、仕事と生活の調和の実現の状況についてお知らせします。

問い合わせ先
 総合政策課 ☎(40)5550

まずは相談

注文していないのに健康食品が送られてきた!

夫が生前に契約したことがあるという業者が、電話で「通常価格より安くするから」と健康食品を勧めてきた。「すでに常用している健康食品があるからと断ったのに、後日商品が送られてきた。」などという相談が寄せられています。消費者が承諾していないにもかかわらず一方的に商品を送り付けられた場合、代金支払いの義務はなく、受け取る必要もありません。疑問や不安に感じるがあったら、消費生活センターに相談しましょう。

下野市消費生活センター
 専用ダイヤル(44)48883
 国分寺庁舎2階
 生活安全課内

相談日時 月~金曜日
 (土日祝日・年末年始を除く)

午前9時~午後5時
 (正午~午後1時を除く)

栃木県消費生活センター
 電話相談は土曜日のみ

☎028(625)2227